

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

| 科目番号 | 科目名 | 担当者名 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---------|-------------------------|------|--------|-----|--------|---------|
| 2201123 | 生活経済論 Home Economics | 早川 周 | 専門 | 2 | 選択 | 2年 前期 |

科目の概要

私たちは日々、生活者として経済活動(消費、貯蓄、投資等)を行っている。この科目では生活者の生活の基礎にある経済のしくみとそれを分析する生活経済学の考え方の基礎を学習する。受講者が将来、生活者、企業人等の進路において、役立つ生活経済(学)の基礎知識を獲得することが期待される。

| 学修内容 | 到達目標 |
|--|---|
| ① 経済のしくみ、生活経済学の基本的な考え方を概説する。 ② 日々の経済報道を紹介し、経済学の考え方でどのように関連性があるかを説明する。 | ① 学んだ知識を生かし、日常的な経済現象を理解することができる。 ② 日々、報道される経済活動に関心を持ち、より深い知識の探求することができる。 |

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

| | | |
|---------|-------------|---|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | この科目を履修して、生活経済、経済のしくみを理解しようとする気持ちを持つと同時に、シラバス、テキスト、印刷教材を読み、新聞、テレビ、インターネットなどの経済記事、ニュース、情報に関心を持つ。テキストの関連する章を読む。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | 新聞、テレビ、インターネットなどの経済記事、ニュース、情報を毎日、見たり、読んだりする。テキストを通読する。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 経済の動きがどのような原因で発生しているか考えてみる。 |
| | 計画力 | |
| | 創造力 | 経済の動きの原因を自分なりに考えてみるができる。 |
| チームで働く力 | 発信力 | 授業の毎回の振り返りシートに自分の意見を書く 教員からの発問に自分の意見を言うことができる |
| | 傾聴力 | 教員の講義、他の学生の発言に耳を傾け、どういうことを言っているか考え、自分自身の意見との異同を考える。 |
| | 柔軟性 | |
| | 状況把握力 | |
| | 規律性 | 業 5 回の実施に対して、3 回以上欠席した場合、授業を 3 回連続で欠席した場合、オフィスアワー(授業の前後に設ける予定)に講師控室(ないし図書館2F)に来て、補習、指導を受ける。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

テキスト: 重川順子『新訂生活経済学』(放送大学教育振興会、2016) 3,132 円(税込み)
参考文献は「経済学」、「生活経済学」、「家庭経済学」の入門書で比較的新しいもの

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 経済学、マーケティングの関連性が深い

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|--|--|
| ① 講義形式を中心とするが、受講生の参加(授業中の発言、振り返りシートの記入)を求め、評価に反映する。 ② 授業で学んだことを基に、自分の周り(新聞、テレビ、インターネット等含む)にある経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。 | ① 授業で配布する資料は原則、受講生の人数分のみを用意するので、保管には十分、注意する。 ② 欠席はやむをえない場合以外はしないようにする。また、連続して欠席をしないようにする。 |

【評価方法】

| 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント |
|------------------|-------|------|---|---|
| 筆記試験 | 70 | ① | ✓ | ① 授業の要点、キーワードを理解できている。 ② 学んだことを応用し、経済の課題を考え、応用することができる。 |
| | | ② | ✓ | |
| | | | | |
| 小テスト | | ① | | |
| レポート | 20 | ① | ✓ | |
| | | ① | ✓ | |
| | | | | |
| 成果発表 (口頭・実技) | | ① | | |
| 作品 | | ① | | |
| 社会人基礎力 (学修態度) | 10 | ① | ✓ | (主体性) ・この科目を履修して、生活経済、経済のしくみを理解しようとする気持ちを持つと同時に、シラバス、印刷教材を読み、新聞、テレビ、インターネットなどの経済記事、ニュース、情報に関心を持つ。テキストの関連する章を読む。 (実行力) ・新聞、テレビ、インターネットなどの経済記事、ニュース、情報を毎日、見たり、読んだりする。テキストを通読する。 (課題発見力) ・経済の動きがどのような原因で発生しているか考えてみる。 (創造力) ・経済の動きの原因を自分なりに考えてみるができる。 (発信力) ・授業の毎回の振り返りシートに自分の意見を書く。 ・教員からの発問に自分の意見を言うことができる。 (傾聴力) ・教員の講義、他の学生の発言に耳を傾け、どういうことを言っているか考え、自分自身の意見との異同を考える。 (規律性) ・授業5回の実施に対して、3回以上欠席した場合、授業を3回連続で欠席した場合、オフィスアワー(授業の前後に設ける予定)に講師室(ないし図書館)に来て、補習、指導を受ける。 |
| その他 | | ① | | |
| 総合評価 割合 | 100 | | | 筆記試験、レポート、学修態度の成績を総合して評価する。 |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)の基準 |
|--|---|
| S(K): 自分自身で生活経済の簡単な政策提案を行うことができる(課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問(記述式)に答えることができた) A(優): 自分自身で生活経済の事例を調査、分析することができる(課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問(記述式)に答えることができた) | B(良): 授業で紹介した生活経済の事例について説明することができる(筆記試験で該当する設問(記述式)に答えることができた) C(可): 各週の講義のC(可)の達成基準の設問を説明することができる(筆記試験で該当する設問(選択式、用語記入式)に答えることができた) |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベル C(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|------|--|---------|---------------------------|--|-------|---------------|
| 1週 / | 生活経済学、経済学の特徴、生活経済学の対象範囲を理解する。 生活者の定義について理解(再確認)する。 | 講義 | 生活経済学の対象範囲を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト2章を読む／家計支出の10大費目を調べる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 2週 / | 消費と貯蓄の意味、所得、家計収入と家計支出の意味と内容を理解する。 | 講義 | 消費、貯蓄の関係、役割を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト3章を読む／自分が今、買いたいと思っているものを書き出す。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 3週 / | 家計(消費)が日本経済に占める位置について理解する。 GDP(国内総生産)の意味とその使い方を理解する。 | 講義 | 日本経済に占める家計消費の位置を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第2章 3.を読む／物価指数、インフレーション、デフレーションの意味を調べる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 4週 / | 物価、インフレーション、デフレーションの意味について理解する。 物価指数の意味と役割について理解する。 | 講義 | 物価の意味と役割を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)〇〇市場と称されるものをあげる／価格上昇に対する自分の消費行動を考える。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 5週 / | 経済現象、市場の価格形成の基本である需要・供給関係、需要曲線、供給曲線の特性について理解(再確認)する。 | 講義 | 需要曲線、供給曲線の意味、役割について説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第7章を読む／エンゲル係数、エンゲルの法則の意味を調べる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 6週 / | エンゲルの法則、エンゲル係数の意味、弾力性、弾力性係数の意味、生活必需品、贅沢品について理解(再確認)する。 | 講義 | エンゲル係数について説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第4章を読む／今後の生活で費用のかかると思われる事項(イベント)とその想定金額をあげる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 7週 / | ライフサイクル(生活周期)の意味について理解する。 ライフステージごとに必要となる費用について理解する。 | 講義 | ライフサイクルと必要になる費用を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第5章を読む／所得格差、ジニ係数の意味を調べる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 8週 / | 日本における所得格差の状況、格差是正する所得再分配について考える。 ジニ係数の定義、意味について理解する。 | 講義 | 所得格差と所得再分配政策について説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第9章を読む／銀行へ行く目的をあげる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|-----------------|---|---------|---------------------------|---|-------|---------------|
| 9週 / 10週 | 借入金、金利の役割、機能を理解する。 金融(銀行、金融機関)の役割、金融市場の働きを理解する。 | 講義 | 借入金、金利の役割について説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)代金を支払う手段をあげる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 10週 / 11週 | 貨幣、通貨の役割を理解する。 電子マネー、ビットコインなど新たな貨幣の機能を理解する。 | 講義 | 貨幣、通貨の役割について説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)日常生活で支払っている税金をあげる。直接税、間接税の意味と内容を調べる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 11週 / 12週 | 税金と財政の役割、機能について理解する。 国債の発行の現状と課題について理解する。 | 講義 | 日本の財政、税制の現状について説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)年金保険の意味と種類を調べる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 12週 / 13週 | 社会保障の方法(社会保険、社会福祉等)と内容について理解する。 日本の社会保障の現状と課題について理解する。 | 講義 | 社会保障の役割について説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)最近、買ったもので外国製品だったものをあげる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 13週 / 14週 | 貿易収支(黒字、赤字)について理解する。 比較優位性など外国貿易の意義について理解する。 | 講義 | 貿易の役割について説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)経済成長の意味を調べる/テキスト第2章 3.を読む/名目値、実質値の意味を調べる。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 14週 / 15週 | 経済成長の意味について理解する。 経済成長を測る名目値、実質値の考え方を理解する。 | 講義 | 名目値、実質値の違いについて説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)テキスト第14章を読む/持続可能性の意味を調べる。自分の人生にとって幸福とは何かを考える。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |
| 15週 / 16週 | 幸福とは何かを考える。 人間の「幸福」、よりよき「社会」と生活経済との関係を考える。 | 講義 | 自分自身の幸福感について意見を述べることができる。 | (復習)15回の到達レベルC(可)の基準ができるようにする。試験の想定問題を配布するので自分なりの答えを考える。 | 90 | 主体性、傾聴力、課題発見力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力